

まが玉

プログラムの概要・ねらい

四角いロウ石をヤスリで削って、まが玉を作る。古代の人々が装飾品として身に付けていたと言われるまが玉。一人一人の個性と主張を表現できる。また、じっくりと磨けば、宝石のような輝きが出てくる。

場所	団体：野外炊飯場、ピロティ 家族：サービスセンター前		
時間	1時間30分～2時間		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	何人でも
準備物	【利用者】新聞紙、ぞうきん、ゴミ袋、鉛筆、救急用品、マスク（必要に応じて）活動に適した服装 【自然の家】材料（ロウ石、紙ヤスリ、水ヤスリ、ひも）、ブルーシート、金ヤスリ（40個）、洗面器 ※数量については、要確認		

①準備

団体：材料と金ヤスリ、水ヤスリ用洗面器、ブルーシート（野外炊飯場は要望時のみ）をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。

[ピロティで実施する場合]

ブルーシートを敷き、その上に新聞紙を敷いておく。※水は、足洗い場（屋外）の水道を使用する。

[野外炊飯場で実施する場合]

新聞紙を敷いておく。





家族：材料をサービスセンター受付で購入する。

水ヤスリ用洗面器、金ヤスリをサービスセンター受付で受け取る。

ロウ石を削った粉が出るので、汚れないように机の上に新聞紙を敷いておく。

②実施の流れ

【時間】

- | | | | |
|------|--|---|---|
| 0:00 | 説明 | ① |  |
| 0:10 | 鉛筆や油性のサインペン等で、削りたい形の下書きをする。（写真①）
※まが玉の形にこだわらず、自由に形を決める。（例：ハートや星等）
※穴の近くを削ると割れやすいので、注意する。 | ② |  |
| 0:15 | 紙ヤスリ（茶色）や金ヤスリで下書きした形に沿って荒削りをし、形を整える。（写真②） | ③ |  |
| 1:00 | 形が整ったら、水ヤスリ（灰色）で最後の仕上げに入る。ロウ石を水で濡らして水ヤスリで磨く。（写真③）つや、輝きが出てくるまでひたすら磨く。 | ④ |  |
| 1:10 | 最後に穴にひもを通す。（写真④） | | |
| 1:20 | 片付け | | |
| 1:30 | 終了
※落とすと割れてしまうので、落とさないように注意をする。 | | |

③後片付け

団体：粉の入った新聞紙は、燃えるごみとして処理する。ゴミ袋に入れてゴミ置き場に運ぶ。
ブルーシートは、草の上で粉をはたき、きれいにする。※コンクリートの上を粉で汚さない。
洗面器の粉の入った水は、野外炊飯場：排水口、ピロティ：足洗い場に流し、軽くゆすぐ。
使用した野外炊飯場の机は、濡れたぞうきんでよく拭き、まわりをほうきで掃く。
金ヤスリ、余った材料、洗面器、ブルーシートはサービスセンター受付へ返却する。

家族：使用した机は濡れたぞうきんでよく拭く。

粉の入った新聞紙は、燃えるごみとしてごみ箱へ捨てる。

金ヤスリ、粉と水の入った洗面器は、粉と水が入ったままサービスセンター受付に返却する。